

令和3年度 事業調査結果A 国際交流分野(令和2年度実施事業)

◎調査結果Aの対象事業は以下のとおりです。

調査結果Aの記載内容について

調査結果Aの事業は、主に以下の(1)～(3)に該当する事業です。

(1) アカデミー推進計画(平成28年3月)のp16～79に掲載されている事業

(2) 「文の京」総合戦略の計画事業のうち、主要課題が「文化資源を活用した文化芸術の振興」「誰もが観光に訪れたいくなるまちの環境整備」「都市交流の促進」「図書館機能の向上」「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の推進とレガシーの継承」に該当する事業

(3) 令和2年度の重点施策事業のうち、「活力と魅力あふれるまちの創造」「文化的で豊かな共生社会の実現」に該当し、アカデミー推進計画の5分野に関係する事業

※それ以外の事業は「令和3年度 事業調査結果B 国際交流分野」に掲載されています。

調査結果Aの各項目については、以下の内容が記載されています。

- 「頁」
 - ・ 「アカデミー推進計画」の掲載ページ
- 「総合戦略事業番号」
 - ・ 「「文の京」総合戦略」の計画事業の事業番号
- 「事業名」
 - ・ 事業名
- 「事業概要」
 - ・ 事業概要
- 「事業費」
 - ・ 事業に係る予算及び決算
- 「実績(数)」
 - ・ 当初予定数(定員)：当初予定していた参加者数や発行部数等(事業の定員や予算計上時の積算数等)
 - ・ 実績数：実際の参加者数、発行部数等
 - ・ 申込数：申込者数等
- 「参加者満足度」
 - ・ 事業でアンケートを実施した場合、「満足」や「よかった」と回答した割合
- 「事業実施内容」
 - ・ 令和2年度事業の実施状況
- 「成果」
 - ・ 事業で得られた成果
- 「課題」
 - ・ 不十分だった点や改善すべき点
- 「課題解決に向けた取組」
 - ・ 課題解決に向けた今後の事業の取組
- 「担当課」
 - ・ 事業を担当する課

国際交流		(所管課)
【分野別目標1】国際理解を育む機会づくり		
1	国際理解促進事業	アカデミー推進課
2	国際理解教育の推進	教育指導課
3	国際交流フェスタ	アカデミー推進課
4	英語観光ガイド	アカデミー推進課
5	姉妹都市等との交流	アカデミー推進課
6	海外都市との交流の活性化	アカデミー推進課
7	ホームステイ生徒交換事業	アカデミー推進課
8	区内大学、ボランティア団体等との協働・連携	アカデミー推進課
9	生涯学習講座での国際理解推進	アカデミー推進課
【分野別目標2】外国人が快適に過ごせる環境づくり		
10	文京区紹介映像多言語版の公開	広報課
11	外国人の日常生活支援のための多言語化	アカデミー推進課
12	通訳クラウドサービス活用による外国人相談等	広報課
13	図書館における外国語の新聞・雑誌の提供	真砂中央図書館
14	配布物の多言語化(スポーツ振興課)	スポーツ振興課
15	配布物の多言語化(リサイクル清掃課)	リサイクル清掃課
16	わかりやすいホームページの構築	広報課
17	わかりやすいまちの表示	区民課/道路課
18	防災対策での多言語対応	防災課

令和3年度 事業調査結果A 国際交流分野(令和2年度実施事業)

【分野別目標1】 国際理解を育む機会づくり

整理No.	頁	総合戦略事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)		実績(数)		参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課
					予算	実績	当初予定数(定員等)	実績数						
【基本的な方向性(1)】 交流の機会の拡充														
1	68	125	国際理解促進事業	地域の行事や団体と連携して、区民の国際理解を促進するための交流事業を実施する。	予算	210	当初予定数(定員等)	50人	—	—	—	—	—	—
					決算	0	実績数	0人	0%					
							申込数	185人	370%					
2	68		国際理解教育の推進	全区立小・中学校の全学年にALT(外国語指導助手)を派遣して、進展する国際化に対応する教育を行う。	予算	96,012	当初予定数(定員等)	30校	—	—	—	—	—	—
					決算	92,707	実績数	30校	100.0%					
							申込数	—	—					
3	43	125	国際交流フェスタ	日本人と外国人が、日本や世界各国の様々な文化が体験できる、国際交流フェスタを実施する。	予算	2,501	当初予定数(定員等)	—	—	—	—	—	—	—
					決算	521	実績数	—	—					
							申込数	—	—					
4	61	125	英語観光ガイド	英語観光ガイドが、区内の庭園、寺社、文化施設等を外国人の方に案内し、各所の歴史や魅力を紹介する。	予算	24	当初予定数(定員等)	—	—	—	—	—	—	—
					決算	1	実績数	10人	—					
							申込数	8人	—					

整理No.	頁	総合戦略事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)		実績(数)		参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課	
【基本的な方向性(2)】 海外都市との交流の活性化															
5	69	125	姉妹都市等との交流	海外都市との交流を活性化し、区民の国際理解を育む。	予算	16,916	当初予定数(定員等)	—	—	89.3% (トルコのねこ)	[カイザースラウテルン市] ・事業名:カイザースラウテルン市訪問団受入れ ・日時:令和2年8月1日～令和2年8月5日 ・内容:オリンピック開催時期にカイザースラウテルンから訪問団を受入れ、交流を深める ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。 [イスタンブール市ベイオウル区] ・事業名:トルコ・ベイオウル区友好交流写真展「トルコのねこ」 ・日時:令和2年11月11日～11月16日 ・内容:友好都市トルコ共和国イスタンブール市ベイオウル区を区民が理解し、親しみを持つ機会を提供することを目的に、ベイオウル区をはじめとするトルコ共和国内の日常の風景をとらえた写真展を開催するとともに、文京区とベイオウル区の交流経緯のパネル展示を行った。 ・入場者数:1260人 [北京市通州区] ・日時:令和2年11月29日 ・内容:通州区の子供たちの手による日中友好の絵や書を受領	トルコ・ベイオウル区友好交流写真展「トルコのねこ」には幅広い年代に及ぶ1260人の方にご来場いただき、アンケート結果からも満足度も高く、区民の国際理解の向上に資する写真展となった。	姉妹都市や友好都市との関係をさらに強固なものにしていくため、住民間交流のきっかけづくりが求められる。また、区民における姉妹都市等の認知度を向上させる必要がある。新型コロナウイルス流行による制約の中で行える交流の在り方を検討する必要がある。	新型コロナウイルス感染症の影響で、海外都市との交流が困難であるが、オンライン方式等の新たな手法及び多様なジャンルにわたる交流を展開していく。これまでの姉妹都市及び友好都市との交流実績を、展示イベント等を通して区民へ周知する。	アカデミー推進課
					決算	103	実績数	—	—						
							申込数	—	—						
6	69	125	海外都市との交流の活性化	海外都市等との交流を活性化し、友好を深め、区民の国際理解を育む。	予算	0	当初予定数(定員等)	—	—	—	[駐日ベナン共和国大使館] ①令和2年9月10日:駐日ベナン共和国大使が区長を表敬訪問 ②令和3年2月27日:ベナン共和国講座 新型コロナウイルス流行に伴う緊急事態宣言延長により中止 [駐日トルコ共和国大使館] 令和3年1月:離日するトルコ共和国駐日大使が、区立小学校及び区立図書館に、歴史絵本「タイヨウのくにとツキのふね」30部寄贈	令和元年度より、ベナン共和国大使館の交流事業として、ベナン料理教室やベナン共和国講座を企画しており、応募数も多いものの、いずれも中止となっている。	区民の関心の高い事業であるため、改めて実施を検討する必要がある。	改めて実施方法を検討し、区内唯一の大使館であるベナン共和国大使館との連携を強化していく。	アカデミー推進課
					決算	0	実績数	—	—						
							申込数	—	—						
7	69	125	ホームステイ生徒交換事業	姉妹都市カイザースラウテルン市との交流事業の一環として、中学生、高校生の派遣・受入を隔年で実施する。(2年で1サイクル)	予算	463	当初予定数(定員等)	4人	—	—	国際交流事業の一環として、姉妹都市カイザースラウテルン市との理解と親睦を深めるため、ホームステイ生徒の派遣と受入れを交互に実施している。	令和2年度はカイザースラウテルンの生徒を文京区が受入れる年に当たるが、新型コロナウイルスの流行により延期された。代替事業として生徒同士の交流のために文京区の生徒から、カイザースラウテルン市の生徒へ寄せ書きを送付した。	令和2年度の文京区での生徒受入れが延期となっているため、今後の計画も含めて、事業の実施方法について検討する必要がある。	新型コロナウイルス流行により、移動を伴う事業は困難である。オンラインによる交流を実施するとともに、今後の生徒募集等について検討が必要である。	アカデミー推進課
					決算	0	実績数	0人	—						
							申込数	—	—						
【基本的な方向性(3)】 国際理解に向けた情報の収集・発信・共有															
8	70		区内大学、ボランティア団体等との協働・連携	「外国人のための専門家相談会」の共催をはじめ、区内の大学や団体の実施する事業の後援等により、情報を広く発信する。	予算	0	当初予定数(定員等)	—	—	—	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、外国人専門家相談会(主催:ぶんきょう多文化ねっと)は開催されなかった。	—	対面で実施する相談会等の開催が難しい。	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた相談については、引き続き、国や都等の相談窓口(東京都多言語相談ナビ)を区HPで周知する。	アカデミー推進課
					決算	0	実績数	—	—						
							申込数	—	—						
9	70		生涯学習講座での国際理解推進	アカデミア講座において、語学、外国文化、歴史等をテーマにした各種の講座を開催する。	予算	—	当初予定数(定員等)	140人	—	84.0%	・文京アカデミア講座 6講座 [語学1講座、外国文化・歴史5講座] [語学1講座、外国文化・歴史5講座] [外国人おもてなし英会話0講座] (受講者136人 定員140人 応募者190人)	語学、外国文化など幅広い分野の講座を提供できた	多様化する受講者のニーズを踏まえた講座を提供する必要がある。	最新の話題を的確に把握するとともに、生涯学習支援者や区内大学と連携を図り、充実した講座内容を企画する。	アカデミー推進課
					決算	—	実績数	136人	97.1%						
							申込数	190人	135.7%						

令和3年度 事業調査結果A 国際交流分野(令和2年度実施事業)

【分野別目標2】 外国人が快適に過ごせる環境づくり

整理No.	頁	総合戦略事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課		
【基本的な方向性(1)】 区の資源を活用した、歴史文化等への理解の推進														
10	71		文京区紹介映像多言語版の公開	区の内外に向けて文京区を紹介し、多くの人に訪れてもらえるように区の魅力を広く周知するため、区紹介映像「ようこそ文の京へ」(約12分)。英語、中国語、ハングル版を作成し、ホームページでも公開している。	予算	0	当初予定数(定員等)	—	—	区紹介映像「ようこそ文の京へ」については平成24年度に完成した映像を、引き続き、ホームページにおいて公開している。平成30年度に制作した文京区公式PR動画「文京区～つながりがみつかるとまち～」については英語、中国語、ハングルの字幕版を作成し、YouTubeチャンネルで公開している。	海外からの来訪者に対し、文京区を知っていただくツールとなっている。	より多くの人に見ていただくことが必要である。	引き続き、ホームページにおいて、紹介映像の公開を行っていく。また、露出の機会を捉えて働きかけを行う。	広報課
					決算	0	実績数	—						
							申込数	—						
【基本的な方向性(2)】 外国人の生活・滞在に対する支援														
11	72		外国人の日常生活支援のための多言語化	外国人住民の日常生活に必要な行政文書の多言語化を行う。	予算	1,353	当初予定数(定員等)	—	—	(1)庁内各課が作成する行政文書等を多言語化する 広報課:「動画でわかる手続き 転入・転出・転居編 画面文字テロップ原稿」 税務課:外国人への案内メモ 戸籍住民課:「出生届をした外国籍(中長期在留者)の方へ」ほか 国保年金課:督促状ほか 子育て支援課:子育て訪問支援券利用案内ほか 保健サービスセンター:災害時健康相談票ほか 土木部管理課:警告書 環境政策課:喫煙等禁止周知啓発ポスター 施設管理課:展望ラウンジ利用者向け案内 (2)区職員向け研修「やさしい日本語」の実施 日時:令和3年2月16日 内容:「やさしい日本語」の特徴や活用例を紹介し、実践する。 参加者数:区職員26名	庁内各部署が作成する行政文書の翻訳を継続することで、外国人住民の利便性に資するとともに、窓口業務の円滑化に役立っている。令和2年度は英語、韓国語、中国(簡体字、繁体字)以外にフランス語、ミャンマー語、ネパール語、タイ語、ベトナム語への翻訳も行った。 区職員向けに実施した「やさしい日本語」研修は、やさしい日本語の理解促進につながった。	引き続き多言語化に取り組む必要がある。窓口等で実際に必要となっている言語について、英語、韓国語、中国語(簡体字、繁体字)以外の言語への対応を引き続き実施していく必要がある。	国外にルーツを持つ区民の利便性向上のため、今までの多言語化に加え、簡単な日本語で表現する「やさしい日本語」の周知、活用を促進していく。	アカデミー推進課
					決算	1,210	実績数	—						
							申込数	—						
12	72		通訳クラウドサービス活用による外国人相談等	区民相談員が行政情報センターにてタブレット端末での通訳クラウドサービスを活用して、外国人相談を行う。また、区役所内において、同端末を利用し、行政サービスの案内を行う。	予算	670	当初予定数(定員等)	—	—	広報課では通訳タブレット3台の契約とポケット5台を設置しており、行政情報センターを訪れた外国人相談者に対し、区民相談員が通訳タブレットを使用して相談業務を行う。また、ポケットを各所管課に貸出し、外国人住民対応時に利用している。	外国人相談21件のうち、1件は通訳タブレットを使用した。また、通訳タブレットの他課への貸出件数は31件だった。	軽微なことであっても、外国人住民の問い合わせや相談ができる窓口として周知していく必要がある。	引き続き、区民相談の通訳タブレットとポケットとして配置し、各所管課への貸し出しも行っていく。	広報課
					決算	471	実績数	60件						
							申込数	—						
13	72		図書館における外国語の新聞・雑誌の提供	区立図書館で、英語、中国語、ハングルなどの新聞、雑誌、外国語図書を購入手、閲覧や貸し出しに対応する。	予算	0	当初予定数(定員等)	—	—	外国語新聞8紙、雑誌15タイトルを購読。英語・中国・ハングルの図書を中心に、フランス語・ドイツ語・スペイン語など、様々な言語の図書を収集している。	図書館を利用する外国人の方や、外国語を勉強する方に対して、幅広いサービスの提供をすることができている。	外国語資料を所蔵している事の周知が不足している。利用案内が日本語のものしか無い。	外国語資料の排架場所を2階に変更し、新刊も1階新刊コーナーに日本語図書と一緒に出す等、場所の工夫をしている。利用案内の多言語化を進め、サービスの向上を目指す。	真砂中央図書館
					決算	0	実績数	—						
							申込数	—						
14			配布物の多言語化(スポーツ振興課)	スポーツセンター及び総合体育館のトレーニングルームとプールの利用案内を英訳した英語版を配布する。	予算	0	当初予定数(定員等)	—	—	英訳したトレーニングルーム及びプールの利用案内を、スポーツ施設入口や各室場付近に、日本語版の利用案内と並べて配架し、多言語での施設利用の周知に取り組んでいる。	施設を訪れた外国人の方や、団体として利用された外国人の方々へ周知することができ、トレーニングルーム及びプールの利用登録に繋がっている。	スポーツセンター、総合体育館ともに、外国人のトレーニングルームの利用登録者は一定数いるが、プールの利用登録者はトレーニングルームと比較して少数である。	プール利用案内をより多くの方に読んでもらうため、トレーニングルームにも目につくように配架し、プール利用の登録者数向上を目指す。	スポーツ振興課
					決算	0	実績数	—						
							申込数	—						

整理No.	頁	総合戦略事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)		実績(数)			参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課
					予算	決算	当初予定数(定員等)	実績数	申込数						
15			配布物の多言語化(リサイクル清掃課)	「ごみと資源の分け方・出し方」の日本語版、英語版、中国語版、ハンダ語版を作成して配布。	予算	189	当初予定数(定員等)	6,000部	—	—	年1回発行【配布場所】リサイクル清掃課、清掃事務所、戸籍住民課	区民に広くごみの排出方法を周知することができ、適正排出に繋がることができた。	A4両面内で収める必要があるため、掲載しきれない情報に関して問い合わせが来ることもある。	掲載情報を改めて検討する。より分かりやすく、必要な情報を優先して掲載する。	リサイクル清掃課
					決算	135	実績数	6,000部	100.0%						
							申込数	—	—						
16			わかりやすいホームページの構築	インターネットによる情報提供の一層の充実を図るとともに、自動翻訳機能を使った多言語での情報提供を行う。	予算	376,200	当初予定数(定員等)	—	—	—	インターネットによる情報提供の一層の充実を図るとともに、自動翻訳機能を使った多言語での情報提供を行う。	行政に関する用語や人名等、適時、個別に単語として登録しており、翻訳の理解できない等の声は寄せられていない。	今後、外国人来訪者の増加を見込み、一層の翻訳精度の向上と新たな対応言語の選定。	引き続き、翻訳精度の向上を図っていく。	広報課
					決算	356,400	実績数	—	—						
							申込数	—	—						
17	72		わかりやすいまちの表示	案内標識やコミュニティバス「Bーぐる」、区有施設における多言語表記を進める。	予算	3,828	当初予定数(定員等)	5,000部	—	—	令和2年4月版の、英語版Bーぐるルートマップを5,000部作成し、配付した。	主要な観光スポットに英語版のBーぐるマップを配付したことで、訪日外国人等の区内観光の利便性向上とBーぐるの利用促進が図られた。	令和3年9月に新規路線が運行開始する予定であり、それに対応した英語版Bーぐるマップを作成する必要がある。	英語版Bーぐるマップを効果的に活用してもらえるよう、三路線分に対応したマップの内容を考案する。また、新規路線沿線の配付場所・配布部数を検討する。	区民課
					決算	2,618	実績数	5,000部	100.0%						
							申込数	—	—						
18	72		防災対策での多言語対応	防災啓発パンフレット等の多言語化、災害時専門ボランティアの通訳ボランティアの登録推進等により、防災対策における多言語対応を進める。	予算	1,914	当初予定数(定員等)	3,000部	—	—	○下記パンフレット等を配布 ・防災パンフレット(令和2年3月) ・土砂災害ハザードマップ(令和2年3月発行) ・水害ハザードマップ(令和元年9月発行) ・洪水・高潮ハザードマップ(令和3年3月発行) 【配付場所】防災課、地域活動センター、図書館など	防災啓発パンフレットの配布により、外国人避難者への災害時における行動や、日常備蓄等の自助に関する考え方の啓発が行えた。また、各ハザードマップを多言語化し、周知を行った。	外国人避難者へ災害時における行動等について、より分かりやすい周知を行う。	作成したハザードマップ等について周知を行うとともに、より分かりやすくするため、ハザードマップ等の構成を工夫していく。また、災害時専門ボランティア制度の周知により努め、登録者を増やすとともに、訓練を通じた外国人避難者への避難所の周知等、新たな取り組みを検討する。	防災課
					決算	1,650	実績数	3,000部	100.0%						
							申込数	—	—						